

**アニメーション特集「動かす世界だ！アニメ、アニメ、アニメーション」…日本のアニメーション**

**■上映作品**

**いつもそばに**

Every time, on You!

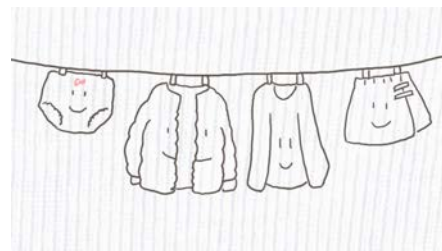
(5分42秒/2015-16)

ある女の子と「ばんづ」の成長と別れを描きます。スタートからラストまで「糸」でつながったワンカット・アニメーション。

題材が題材だけに、下品にならないように心がけました。子供の頃、小さくなった服がいつの間になくなる…そんな記憶を「服の気持ち」を想像しながら描いた作品です。

監督：細山広和

北海道網走市出身。大学時代のサークル活動より短編アニメを制作開始。アニメと関係ない仕事に就きつつ新作の構想に生きる日々。作品は国内のほか台湾、スペイン、米国等でも上映。現在は牧之原市在住。



(c) 細山広和

**Birth-つむぐいのち**

Birth - Weaving Life

(19分4秒/2016)

出産の数だけドラマがある！3名の女性が出産体験を語り、アニメーション作家が映像化した3つの物語。

妊婦の視点で語られるドキュメンタリーアニメーション。

総合監督：若見ありさ

アニメーション作家。Child Pokke 代表。砂絵アニメーションを制作。子ども達が監督になる工作アニメーションワークショップを美術館等で開催。



**第1夜「はじめまして」**

安産を願うウォーキングと食事制限を続ける女性についてその日が！夫とともに準備万端で迎えた出産はまるでジェットコースターのような感じだった。

監督：荒井知恵

手描きアニメーター、イラストレーター。アニメーションプロダクションに勤務後、フリーランス。仕事の傍ら、フリーブック、絵本、映像等製作。



**第2夜「ありがとう」**

あたたかな部屋、見守る家族。ゆったりとした音楽の中繰り返される波。

監督：こぐまあつこ

アニメーション作家。主にTV-CM、ビデオなどのアニメーションの企画・演出・制作を多彩な技法で手掛ける。その他、人形制作・イラストレーションなどでも活躍。



**第3夜「水の中の妊婦」**

夜、水の中で起きた妊婦。破水した事を知り病院へ行くも生まれる気配無く四苦八苦。やっと陣痛がきたが・・・

監督：若見ありさ

**オムネン**

Omunen

(1分00秒/2013)

この作品は2013年の日本アニメーション協会主催のイベント用に作ったものです。

当初オムライスの中からクマが出てくるストーリーでした。ちびっこ達に喜んでもらえたら嬉しいです。

監督：石田卓也

1956年、東京都生まれ。色のついたプラスチック粘土を使ったアニメーションを作り続けています。ちびっこ達に喜んでもらうのが大好き。代表作『映画クレヨンしんちゃんオープニング』『もぎもぎ』『もんびー』



(c) 石田卓也

**gymnasiumany**

gymnasiumany

(5分00秒/2015)

ヒトのシルエットで切り抜かれた紙のオブジェを、置き換えと立体驚き盤で動かすペーパークラフト・アニメーション作品。

大勢の人々が、歩いたり走ったり、階段を昇ったり降りたり、様々な運動を繰り返しています。やがて変化が起こり、影が逆に動いたり、不可思議な空間に変容していきます。

監督：中西義久

コマ撮り、アニメ、合成を使った短編自主制作作品を多数制作。フリーで企業ビデオ、音楽PV、アニメ作品など映像制作やデザインなどを行う。七尾旅人音楽PV、NHK プチプチ・アニメ『白い本』など制作。



(c) 中西義久

～イメージフォーラム・フェスティバル 2015 招待上映

～第16回広島国際アニメーションフェスティバル

HIROSHIMA 2016 「日本アニメーション大特集 10：

現代日本のアニメーション 1」招待上映

YouTube : [https://www.youtube.com/watch?v=4e\\_4N3pD2C0](https://www.youtube.com/watch?v=4e_4N3pD2C0)

<1ページ目よりつづき>

**Barnadis Trossets de Barcelona**

Small pieces from Barcelona

(4分00秒/2013)

街を作画しその街で撮影する手持ちアニメーションプロジェクト Daumenreise は現在21カ国33都市36作品。学生、子供、大人と、映画祭で、大学で、美術館でと開催してきましたが、33作目のバルセロナは親子ワークショップ。

親子での作画、撮影がとても微笑ましく楽しい作品。ワークショップでは私もいつも作画参加しますが、子供の描くランドマークのダイナミックな簡略化にまたもや圧倒されました。特にサグラダファミリアを子供がどう描いたかは必見です。手持ちの「手」が子供の手なのもかわいい。

効果音はアニメーション作家の友人が担当してくれてさらに深みが出ました。

年間300日以上晴れているというバルセロナの、撮影日だけがめったにないという大雨でした…。

監督：米正万也

兵庫県出身。見たものや経験、声、音、音楽、風景等に共鳴する色や形の動きを作り、言葉で表せないことをアニメーションにしたいと思っています。

「believe in it」(1998)で文化庁メディア芸術祭優秀賞受賞。いくつかの国を経て2014年よりドイツ在住。



(c) 米正万也

**灯花**

The Light

(7分14秒/2010)

生きるための新しい目的を見つける話。

監督：助川勇太

みんなのうた「フルーツ5姉妹」監督  
 ニューヨーク近代美術館 子供の映画コレクション  
 40th ザグレブ国際アニメーション映画祭—特別賞  
 マイ・ファーストフェスティバル バルセロナ—最優秀短編映画賞



(c) 助川勇太

**放課後ミッドナイターズ ショートシリーズ**

After School Midnighters Short Series (4本上映します)

(1分30秒/2012) x 2

(1分00秒/2016) x 2

2012年夏に公開した劇場版「放課後ミッドナイターズ」のプロモーションツールとして制作、劇場で展開した、スピンアウト企画。

毎夜毎夜、聖クレア小学校の理科室でキュンストレーキとゴスが退屈しのぎにネタを持ち込み過ごすさまをおもしろおかしく描いた作品。爆笑というよりはくすくす笑えるようなシュールな展開。アフレコは行わず、セリフを軽快な音楽とともにテキストで表示させるというトリッキーな構成で描く。

2016年秋、SNS上で再び話題となり、新作ショートムービーを2017年公開。

監督：竹清 仁

2012年、モンブラン・ピクチャーズを設立。第1作として映画『放課後ミッドナイターズ』を制作し、日本をはじめ世界7カ国で劇場公開。

2013年「モントリオール ファンタジア国際映画祭」アニメーション部門 Special Mention 賞



(c) AFTER SCHOOL MIDNIGHTERS PARTNERSHIP.

**ぼうけんしよう!!**

Let's go to The Adventure

(3分42秒/2013)

東日本大地震の後の『いわき冒険映画祭』のOPの為に制作。

祈りから始まり、映画祭なのでコマ撮りに縛られずに流し撮りのパフォーマンスも加え…。

映画といえば、男性監督が多い中、女性だって女優だけでなく、監督、カメラマンも…の想いを込めて。

監督：飯面 (いいめん) 雅子

武蔵野美術大学卒。『きまぐれオレンジ☆ロード』砂アニメ制作。ベルギーにて2千人にパフォーマンス上演。2014年NHK交響楽団と共演。舞台『NARUTO』。イベントや学校芸術鑑賞会上演、CM制作も。2017年イタリア公演。30周年のサンドアートの第一人者。http://sandart-koubou.jp/



(c) limenmasako

**フィルム・マフラー「恋の急展開」**

Film Muffler "Beschleunigung der Liebe"

(1分33秒/2013)

映画フィルムの模様に編んだマフラー「フィルムマフラー」7本をつなげてコマ撮り撮影しました。

伴奏は、サイレント映画ピアニスト・柳下美恵さんです。

監督：やたみほ

編み物で作るアニメーション「編みメーション」作家。

NHK プチプチアニメ「けいとのようせいニットとウール」シリーズを制作。白百合女子大学人間総合学部児童文化化学科講師。日本アニメーション協会会員。



(c) やたみほ

<3ページにつづく (全3ページ) >

<2ページ目よりつづき>

### ツインズ・イン・ベーカリー

Twins in Bakery

(5分00秒 / 2013)

流行らない普通のパン屋さんの配達中に起きた不思議な出来事。それがきっかけで、町一番のパン屋さんに。でも、それは誰にも言えない秘密。

・・・Twins in Bakeryは、私にとってはじめての本格的なアニメーション作品です。そしてソーセージやパンなどの本物の食品でアニメーションのキャラクター類を作ったおそらくは世界で最初のアニメーションです。

本物の食品を使うことで、食品のシズル感、店内のリアル感、妖精のファンタジー感が感じられるアニメーションを目指しました。

監督：宮澤真理

2014年東京芸術大学映像研究科アニメーション専攻修了。

2002年から食品でアートを追求するお絵かきお弁当を発表。こにぎりくんでオタワ国際アニメーション映画祭審査員特別賞、Decorationsでシカゴ国際子ども映画祭子供アニメーション部門グランプリなど受賞多数。



(c) 宮澤真理/東京芸術大学大学院映像研究科

### WONDER

WONDER

(8分08秒 / 2014)

一日が始まり、一日が終わる。命が生まれ、やがて死ぬ。すべてのものには始まりがあり、等しく終わりが来る。小さな存在の生と死の繰り返し、この世界の呼吸になっている。命は不思議で、奇跡的で、驚きで、生きることは、「ワンダー」に満ちている。

8,760枚に及ぶ手描きアニメーションにより、目いっぱいの幸せを表現した作品。

監督：水江未来

1981年生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。

細胞や幾何学図形を用いた音楽的なアプローチの抽象アニメーションを数多く制作。ベルリン映画祭やヴェネチア映画祭など、国際映画祭を舞台に活動中。アヌシー国際アニメーション映画祭では、2012年と2014年に2度の受賞。



(c) 水江未来

(全11作品)

<おしらせ>

無料上映

## 絶対15秒アニメーション

11・12日 12:00~16:00 J program

鴨江アートセンター104

無料上映スペース(鴨江アートセンター104)では、「ワンはま2017」「さぬき映画祭ショートムービー」とともに、日本アニメーション協会の会員有志が制作した「絶対15秒アニメーション」を繰り返し上映しています。

お時間がありましたら、こちらも是非ご覧ください!

### 絶対15秒アニメーション

40 Animation short pieces, all 15 seconds (by Japan Animation Association)

日本アニメーション協会(Japan Animation Association, JAA)が、数年前に開催する上映会「イントゥ・アニメーション」。

その第7回(平成29年8月4~7日、国立新美術館)の開催を記念して制作された完全オリジナルのオムニバス・アニメーションです。

日本アニメーション協会に所属する会員有志が、イントゥ・アニメーションの開催回である「7」をテーマに、15秒のアニメーションを制作しました。

(16分02秒 / 2017)



©浅野優子 ©asitanonki ©いがらしなおみ ©bak ikeda, smegANDsynaps ©mogi 太郎 ©Hiroco Ichinose / Decovocal ©いづつき育子 ©2016miyukiechigoya ©kaku ©ガジェットスター ©Sawako Kabuki ©2017 Yewon Kim ©2017 Hakhyun KIM / STUDIO 8 DOGS ©Yutaro KUBO ©Takae Kyanagi ©Kotaro Sato, Satory Design ©Purl Purl Anima Lab. ©Yumi Shima ©2017 Mika SEIKE ©Studio・Sen ©土田ひろゆき/スタジオペンゴ ©ばれんたい工房 ©長塚美奈子 ©yoshihisa nakanishi ©西内としお ©noco yukawa ©ひごねのりお ©2017 Himeda Manabu ©船本恵太 ©タクンボックス ©細山広和 ©mayamamamamy ©Masatoki MINAMI ©Hiromitsu Murakami ©Morishita Yusuke ©Kazuo MORITA ©takamitsu yukawa ©横須賀令子 ©YOSHIMURA Eri ©Sachiyo Watanabe